

MODEL CF-430VBII

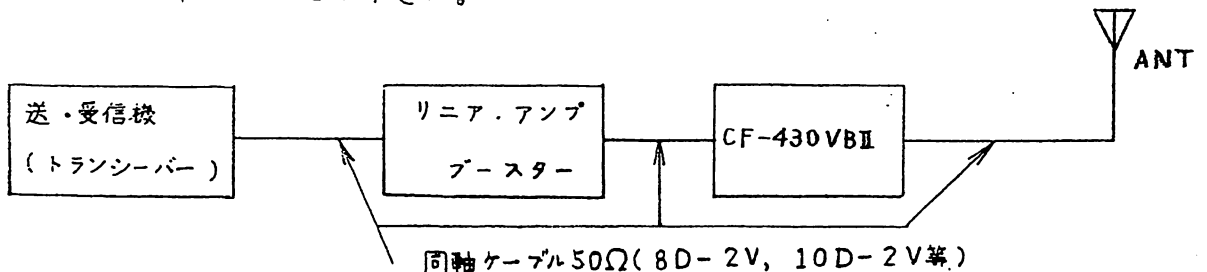
430MHz帯可変BPFは送信時において低・高調波のスプリアスを防止し、クリアな送信ができます。受信時は周波数特性をシャープな設計にし、430MHz～440MHzの間で可変できる様になっているため特にローカル局の混入を防止します。又機構的にハイパワーで設計されています。

仕 様

(1) 周波数可変範囲	422 MHz ～ 450 MHz (ロック機構付)
(2) そう入損失	1.0 dB以内 (0.5 dBにセット)
(3) 減衰量	右図に記す
(4) 入出力インピーダンス	50 Ω
(5) 許容最大入力	100 W
(6) V.S.W.R.	1.2 以内
(7) 入出力接栓	N型
(8) 重量	2.2 kg
(9) 大きさ	W140×D185×H140 (但し突起物は含まない)

フィルタの使用法

- (1) ダイアルを別紙のダイアル校正曲線グラフのダイアル目盛に合わせる事により、希望周波数に共振する事ができます。
- (2) フィルターは 図 の様に送信機出力回路又は受信機入力回路と空中線間に挿入して使用します。フィルターは入出力側とも同じインピーダンスですから極性はありません。ブースターまたはリニアアンプを使用する場合にも又、同様にリニアアンプと空中線との間に接続します。
- (3) 受信のみに使用する場合にはそう入損失を1.0 dB に合わせる事により、よりシャープな特性が得られます。また本体と蓋の間に銅板を入れてあります(電波のもれ防止)のでビスの締付は強くして下さい。

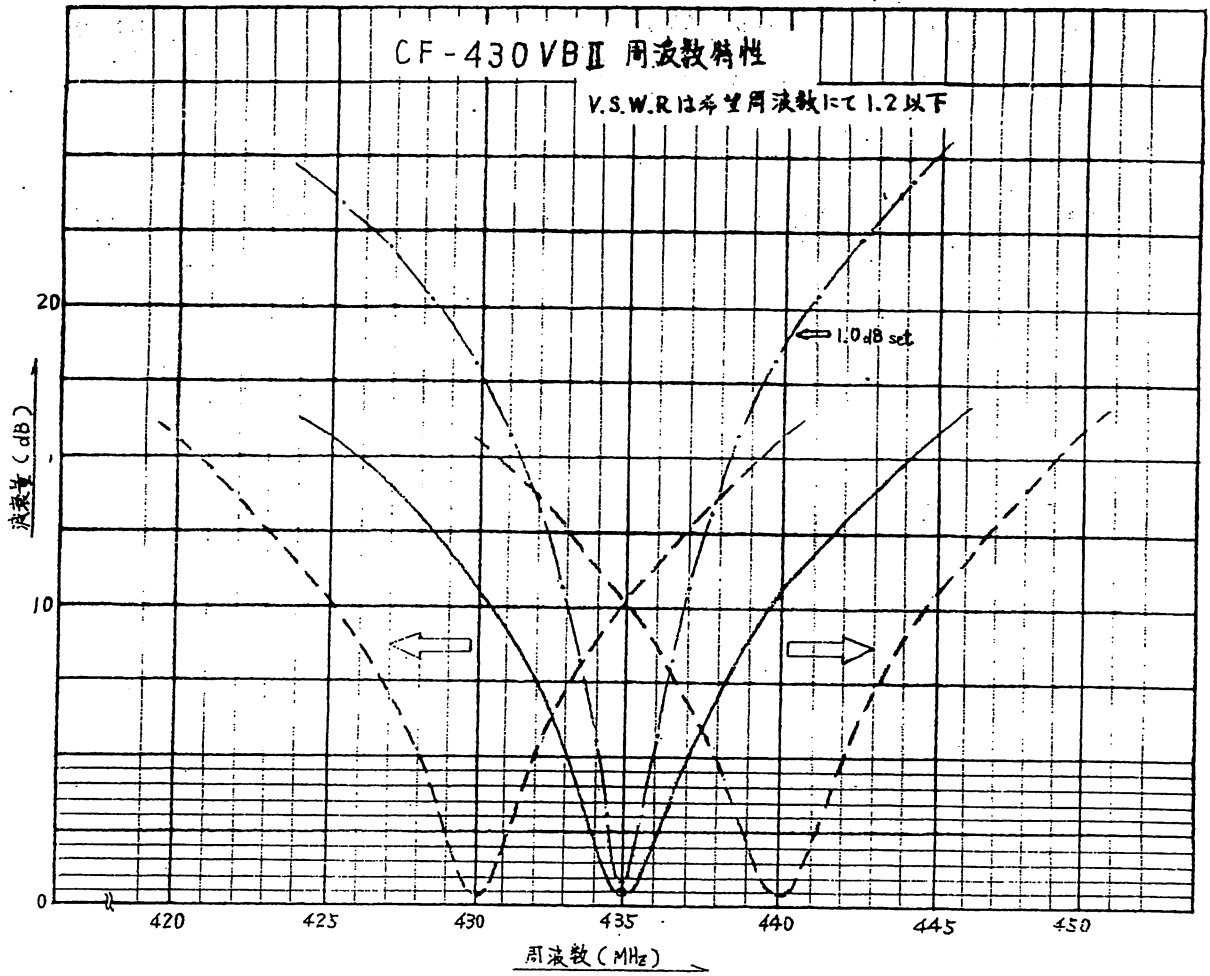


使用上の注意

- (1) 空中線と送受信機、トランシーバーの整合は正しく行なって下さい。整合が悪い場合はフィルターの効果は半減します。SWRメーター等で出来るだけ1に近づける事により、正しい整合が行なわれます。
- (2) 本品は防水形ではありません。

CF-430VBII 周波数特性

V.S.W.R.は希望周波数にて1.2以下



CF-430VBII ダイアル校正グラフ

